

防災の見返りに開発〃黙認〃

業者と共に工事打出す
「基準」で縛る市側に嫌気

豪雨のたびにガケ崩れを起こす危険な裏山の災害防止は自分たちの手で、と地元住民が民間業者に土地を売り渡すことと引き換えに防災工事を行う計画が、福岡市西区横浜二丁目の「今山」を舞台に進められている。「基準どおりにしか行えない市の工事を待つていては、われわれの生命と財産は守れない」とい

う被災者の窮余の一策だが、当然のことながら、業者側としてはこの土地を何らかの形で開発する意向。一部住民からは「貴重な遺跡の山を壊すな」と反対の声も上がり、住民の間には困惑の表情も。急膨張する福岡市およびその周辺部では、こうした事例は多いのではないか、そういう思いで現地を歩いてみた。

西区横浜地区住民

課が林地崩壊防止事業として取り

上げ、西側の二ヵ所に、延長計六

初期から中期（約二千年前）にかけて、产出される玄武岩を使って石斧（せきふ）が製造された場所として知られる。昭和初期から二十九年まで県営採石場として、道路敷地用などに大量の石が切り出された。北部の半分はすでに美浜団地として開発され、現在の山は周囲約一・五キロメートルに取り囲まれ、ボソンと残っている。

一軒では救済できぬ？

田武臣さん（五十五歳）は、「中止して貰はれとは言っていないんです。私が中心になつて、私を含む山の四軒の家の裏手の土止め工事をしてほしいと頼んだ。しかし、このうち一軒は法の基準に合

わないので工事ができない。それでは私は困る。みんなを引っ張つて来て、自分の所だけ工事をしてもらつたんでは、近隣に合わせる

結果的に工事は五十六年末に中止された。吉原金之介林政課長によると、国の基準では、崩壊危険地の下に二戸以上の家がないといけない。一軒だけばつんと離れているため、地元の要求通り、四軒全部に壁面を張りめぐらす工事は不可能。

そこで、永田さんは、民間業者にひと山全部買い取つてもらい、工事をさせることを思いついた。

当然、見返りの開発はやむを得ない。この話を受けたメンテ工業（福岡市・天神）の立藤徹社長は、「五十六年秋ごろ、いろいろな経路を通じて防災工事の話を持ち込まれた。わが社が、計画をまとめた段階で、工事は本業の土建会社に譲るという方法。防災工事の「結果」として生まれる土地に百二十一戸の分譲住宅を建て、費用の回収に充てる」と開発含みを隠さない。

山頂に30尺の亀裂

横浜町内会（松本寿会長、約百

十一戸）、高さ二丈一三尺のコンクリート擁壁の建設を計画。五十六

年度予算として千八百万円を確保

した。ところが、当の被災者から「その工事はやめてほしい」とい

う要請があつたから話はややこし

くなる。

「中止を申し出た」とされる永

田武臣さん（五十五歳）は、「中

止してくれとは言つていないんで

す。私が中心になつて、私を含む

山の四軒の家の裏手の土止め

工事をしてほしいと頼んだ。しか

し、このうち一軒は法の基準に合

わない。このうち工事ができない。それでは私は困る。みんなを引っ張つて来て、自分の所だけ工事をしてもらつたんでは、近隣に合わせる

結果的に工事は五十六年末に中止された。吉原金之介林政課長によると、国の基準では、崩壊危険地の下に二戸以上の家がないといけない。一軒だけばつんと離れているため、地元の要求通り、四軒全部に壁面を張りめぐらす工事は不可能。

そこで、永田さんは、民間業者にひと山全部買い取つてもらい、工事をさせることを思いついた。

当然、見返りの開発はやむを得ない。この話を受けたメンテ工業（福岡市・天神）の立藤徹社長は、「五十六年秋ごろ、いろいろな経路を通じて防災工事の話を持ち込まれた。わが社が、計画をまとめた段階で、工事は本業の土建会社に譲るという方法。防災工事の「結果」として生まれる土地に百二十一戸の分譲住宅を建て、費用の回収に充てる」と開発含みを隠さない。

横浜町内会（松本寿会長、約百

十一戸）、高さ二丈一三尺のコンクリート擁壁の建設を計画。五十六

年度予算として千八百万円を確保

した。ところが、当の被災者から「その工事はやめてほしい」とい

う要請があつたから話はややこし

くなる。

「中止を申し出た」とされる永

田武臣さん（五十五歳）は、「中

止してくれとは言つていないんで

す。私が中心になつて、私を含む

山の四軒の家の裏手の土止め

工事をしてほしいと頼んだ。しか

し、このうち一軒は法の基準に合

わない。このうち工事ができない。それでは私は困る。みんなを引っ張つて来て、自分の所だけ工事をしてもらつたんでは、近隣に合わせる

結果的に工事は五十六年末に中止された。吉原金之介林政課長によると、国の基準では、崩壊危険地の下に二戸以上の家がないといけない。一軒だけばつんと離れているため、地元の要求通り、四軒全部に壁面を張りめぐらす工事は不可能。

そこで、永田さんは、民間業者にひと山全部買い取つてもらい、工事をさせることを思いついた。

当然、見返りの開発はやむを得

ない。この話を受けたメンテ工業（福岡市・天神）の立藤徹社長は、「五十六年秋ごろ、いろいろな経路を通じて防災工事の話を持ち込まれた。わが社が、計画をまとめた段階で、工事は本業の土建会社に譲るという方法。防災工事の「結果」として生まれる土地に百二十一戸の分譲住宅を建て、費用の回収に充てる」と開発含みを隠さない。

横浜町内会（松本寿会長、約百

十一戸）、高さ二丈一三尺のコンクリート擁壁の建設を計画。五十六

年度予算として千八百万円を確保

した。ところが、当の被災者から「その工事はやめてほしい」とい

う要請があつたから話はややこし

くなる。

「中止を申し出た」とされる永

田武臣さん（五十五歳）は、「中

止してくれとは言つていないんで

す。私が中心になつて、私を含む

山の四軒の家の裏手の土止め

工事をしてほしいと頼んだ。しか

し、このうち一軒は法の基準に合

わない。このうち工事ができない。それでは私は困る。みんなを引っ張つて来て、自分の所だけ工事をしてもらつたんでは、近隣に合わせる

結果的に工事は五十六年末に中止された。吉原金之介林政課長によると、国の基準では、崩壊危険地の下に二戸以上の家がないといけない。一軒だけばつんと離れているため、地元の要求通り、四軒全部に壁面を張りめぐらす工事は不可能。

そこで、永田さんは、民間業者にひと山全部買い取つてもらい、工事をさせることを思いついた。

当然、見返りの開発はやむを得

ない。この話を受けたメンテ工業（福岡市・天神）の立藤徹社長は、「五十六年秋ごろ、いろいろな経路を通じて防災工事の話を持ち込まれた。わが社が、計画をまとめた段階で、工事は本業の土建会社に譲るという方法。防災工事の「結果」として生まれる土地に百二十一戸の分譲住宅を建て、費用の回収に充てる」と開発含みを隠さない。

横浜町内会（松本寿会長、約百

十一戸）、高さ二丈一三尺のコンクリート擁壁の建設を計画。五十六

年度予算として千八百万円を確保

した。ところが、当の被災者から「その工事はやめてほしい」とい

う要請があつたから話はややこし

くなる。

「中止を申し出た」とされる永

田武臣さん（五十五歳）は、「中

止してくれとは言つていないんで

す。私が中心になつて、私を含む

山の四軒の家の裏手の土止め

工事をしてほしいと頼んだ。しか

し、このうち一軒は法の基準に合

わない。このうち工事ができない。それでは私は困る。みんなを引っ張つて来て、自分の所だけ工事をしてもらつたんでは、近隣に合わせる

結果的に工事は五十六年末に中止された。吉原金之介林政課長によると、国の基準では、崩壊危険地の下に二戸以上の家がないといけない。一軒だけばつんと離れているため、地元の要求通り、四軒全部に壁面を張りめぐらす工事は不可能。

そこで、永田さんは、民間業者にひと山全部買い取つてもらい、工事をさせることを思いついた。

当然、見返りの開発はやむを得

ない。この話を受けたメンテ工業（福岡市・天神）の立藤徹社長は、「五十六年秋ごろ、いろいろな経路を通じて防災工事の話を持ち込まれた。わが社が、計画をまとめた段階で、工事は本業の土建会社に譲るという方法。防災工事の「結果」として生まれる土地に百二十一戸の分譲住宅を建て、費用の回収に充てる」と開発含みを隠さない。

横浜町内会（松本寿会長、約百

十一戸）、高さ二丈一三尺のコンクリート擁壁の建設を計画。五十六

年度予算として千八百万円を確保

した。ところが、当の被災者から「その工事はやめてほしい」とい

う要請があつたから話はややこし

くなる。

「中止を申し出た」とされる永

田武臣さん（五十五歳）は、「中

止してくれとは言つていないんで

す。私が中心になつて、私を含む

山の四軒の家の裏手の土止め

工事をしてほしいと頼んだ。しか

し、このうち一軒は法の基準に合

わない。このうち工事ができない。それでは私は困る。みんなを引っ張つて来て、自分の所だけ工事をしてもらつたんでは、近隣に合わせる

結果的に工事は五十六年末に中止された。吉原金之介林政課長によると、国の基準では、崩壊危険地の下に二戸以上の家がないといけない。一軒だけばつんと離れているため、地元の要求通り、四軒全部に壁面を張りめぐらす工事は不可能。

そこで、永田さんは、民間業者にひと山全部買い取つてもらい、工事をさせることを思いついた。

当然、見返りの開発はやむを得

ない。この話を受けたメンテ工業（福岡市・天神）の立藤徹社長は、「五十六年秋ごろ、いろいろな経路を通じて防災工事の話を持ち込まれた。わが社が、計画をまとめた段階で、工事は本業の土建会社に譲るという方法。防災工事の「結果」として生まれる土地に百二十一戸の分譲住宅を建て、費用の回収に充てる」と開発含みを隠さない。

横浜町内会（松本寿会長、約百

十一戸）、高さ二丈一三尺のコンクリート擁壁の建設を計画。五十六

年度予算として千八百万円を確保

した。ところが、当の被災者から「その工事はやめてほしい」とい

う要請があつたから話はややこし

くなる。

「中止を申し出た」とされる永

田武臣さん（五十五歳）は、「中

止してくれとは言つていないんで

す。私が中心になつて、私を含む

山の四軒の家の裏手の土止め

工事をしてほしいと頼んだ。しか

し、このうち一軒は法の基準に合

わない。このうち工事ができない。それでは私は困る。みんなを引っ張つて来て、自分の所だけ工事をしてもらつたんでは、近隣に合わせる

結果的に工事は五十六年末に中止された。吉原金之介林政課長によると、国の基準では、崩壊危険地の下に二戸以上の家がないといけない。一軒だけばつんと離れているため、地元の要求通り、四軒全部に壁面を張りめぐらす工事は不可能。

そこで、永田さんは、民間業者にひと山全部買い取つてもらい、工事をさせることを思いついた。

当然、見返りの開発はやむを得

サ
ガ
ル
少
年

集まれ

個人技などを指導してもらい、子供達も目を丸くして2人のボールさばきに注目していました。庄巻は、トラッピング（足や頭など手以外を使いボールを地面に落とさず上にあげるサッカー独特の練習法）でした。体のいろんな所を使つて続けられ、足や頭はもちろん、肩や背中までをつかうやり方にはかなり自信のある子供達もビックリといつた具合で注目をあびていました。このトラッピングや2・3人でのパスを経て最後は小学生又は会社の職場にて好きな野球をやつていた人達ばかりで、上手な人も下手な人も一諸になつて楽しい野球をしております。

この一・二年間の成績はハタエ杯に於いては決勝戦で負けはしましたが、二年連続準優勝になりました。又昨年の五月には、長崎県のチームで今迄の成績が無敗と云う長崎シャームズとの親善試合を行ないました。この時は一対〇で負けましたけれど、相手チームの監督が横浜スネットクスの守備は見本にしなければならないと云つてその連携プレーを一生懸命に練習しているそうです。又今年の五月には我がチームは長崎遠征も決まりましたので、大内監督以下全員が意欲を燃して練習に励んでおります。今度こそはハタエ杯等是非優勝しようと全員一致団結して頑張つております。

新鮮な野菜・果物
雪印牛乳・氷

國友商店

全商品配達致します。お電話下さい。

毎周金曜日は特売日

西松原二丁目 806 { 0001
 { 0015

今宿釣具センター

國友敬治

806-3397
806-0124

今商チップ 加盟店紹介

加盟店では遠慮なくチップをもらって下さい

今宿菴局



ご主人が薬剤師の 調剤薬局

西松原一丁目国道沿い北側の今宿薬局は、昭和二十四年の創業で、今年で三十四年目を迎えた調剤薬局です。県の薬種商免許による薬店とは違い、国家試験による薬剤師がいる薬局でしか薬の区分けや調剤はしてはならぬいそうです。ご主人の土肥善衛氏がその薬剤師で、豊富な専門知識と永い経験により、一般薬品の健康相談から漢方薬の指導、相談までていねいに説明してもらえます。

店の成長で分離独立したビビとくすりの今宿はそれぞれ夫人と息子さんの経営による姉妹店です。

鮮魚と鉢盛の店、久保鮮魚店は、国道今宿
交差店から北に二、三歩入った商店街の入口
にあります。

久保文子さんの経営によるこの店は魚屋さ
んとしてはしにせの方で、いつもニコニコし
た久保さんは近所の奥様たちにも大変評判が
良いお店です。女性の経営とはいえ、はだか
陳列の魚はパック詰めと違つて鮮度バツグン
ふぐ料理もお手のものです。鮮魚だけではな
く人数やご予算に応じて針盛の注文も受けて
ありますので、ご来客や会合のときにはお氣
軽にご相談下さい。

女性の立場で お料理指導

＜すりと健康相談は……

今宿凍菜局

本店☎806-5554 西松原1丁目
支店☎807-1100 ユニード前商店街

鮮魚・鉢盛・ふぐ料理

久保鮮魚店

☎ 806-0174
西松原1丁目